

# 子どもの感染症の状況

(情報提供: 庄原赤十字病院小児科)

保健医療課健康推進係

☎0824-73-1255



今の時期、日ごとに暑さが増し、子どもも大人も身体が疲れやすく、感染症にかかりやすくなっています。子どもの状況では、4月は『手足口病』と『水痘』が流行しました。5月に入ってから下火にはなりましたが、まだ感染が広がっています。

## 手足口病とは

熱は出たり、出なかつたり、出ても37〜38℃で、1〜3日で下がります。頬の内側や、舌、歯肉、唇などに発疹があるので、口内炎かなと思っっているう

ちに、文字どおり、手のひら、足の裏、ひざやおしりなどにも小さな水ぶくれがあらわれます。一週間もすればきれいに消えます。発熱を伴う発疹が出たら、医療機関へかかるようにしましょう。

## 水痘とは

熱と同時に胸やおなか、頭などに発疹がでます。熱はでないこともありま。発疹は、始め小さい赤い斑点ですが、間もなく盛り上がり水ぶくれになり、4〜5日もすると乾いて黒いかさぶたになります。目の結膜、口の中、外陰部、頭皮にも次から次へと新しい水ぶくれができます。水ぶくれの中にウイルスがいるので、その液に触るとうつりますが、水ぶくれがすべてかさぶたになれば人にはうつりません。きらきらした水っぽい発疹が『一つでも』出たら、まずは医療機関にかかるようにしましょう。

## 予防法は

- ① 手洗いをする
- ② 栄養バランスのとれた食事や睡眠をとり身体の調子を整える
- ③ 飛沫感染(くしゃみやみせきなどで感染)なので換気をこまめする などを

また、集団感染するので保育所などへの通いは医師などの指示をうけましょう。

住民の目線を活かした編集が評価

## 「広報しょうばら」が 総務大臣賞



広報しょうばら12月号

平成22年全国広報コンクール(社団法人日本広報協会が主催)の審査会が行われ、「広報しょうばら」12月号が広報紙部門(市部)で総務大臣賞(特選)に選ばれました。

受賞した「広報しょうばら」12月号は、市の基幹産業である農業を取り上げ、農業へ新規参入する企業や若者の特集したA4判36ページの作品。建設業などの異業種の農業参入や非農家の若者が農業に取り組む姿を紹介しました。

広報紙部門(市部)には、各都道府県の代表作品61点が応募。企画内容や文章力、構成、表現力などが審査され、審査員から「農業のまち庄原市にとって価値の高い記事。読みやすく構成もとても良くできています」と総合的に高い評価を受けました。

広報紙は、市民の皆さんからの情報や協力があって一つの形となります。取材に応じてくださった方々やご協力いただいたすべての皆さん、ありがとうございました。